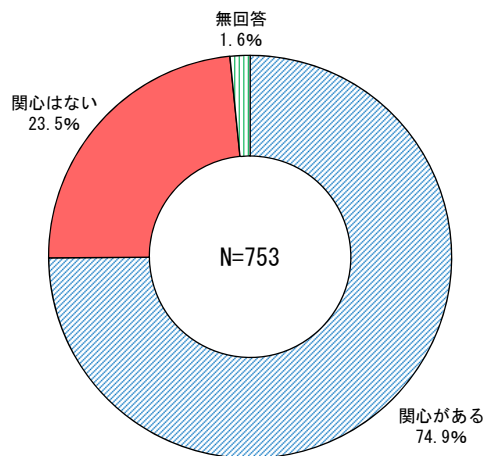


5 北海道食品機能性表示制度（ヘルシーD o）について

問1 健康食品に関心がありますか。
次の中から1つだけお選びください。



【全体】

「関心がある」(74.9%)と答えた人の割合が最も高く、次いで「関心はない」(23.5%)の順となっている。

【圏域別】

「関心がある」については、釧路・根室圏(82.0%)が最も割合が高く、次いで道南圏(81.7%)となっている。「関心はない」については、十勝圏(30.2%)が最も割合が高く、次いでオホーツク圏(27.3%)となっている。

【人口規模別】

「関心がある」については、人口10万人以上の都市(79.1%)が最も割合が高く、次いで札幌市(79.0%)となっている。「関心はない」については、人口10万人未満の都市(33.3%)が最も割合が高く、次いで町村部(25.8%)となっている。

【性別】

「関心がある」については、男性71.3%、女性77.8%となっており、「関心はない」については、男性27.8%、女性20.6%となっている。

【年代別】

「関心がある」については、60～69歳(81.8%)が最も割合が高く、次いで50～59歳(79.9%)となっている。「関心はない」については、30～39歳(33.1%)が最も割合が高く、次いで40～49歳(26.5%)となっている。

【職種別】

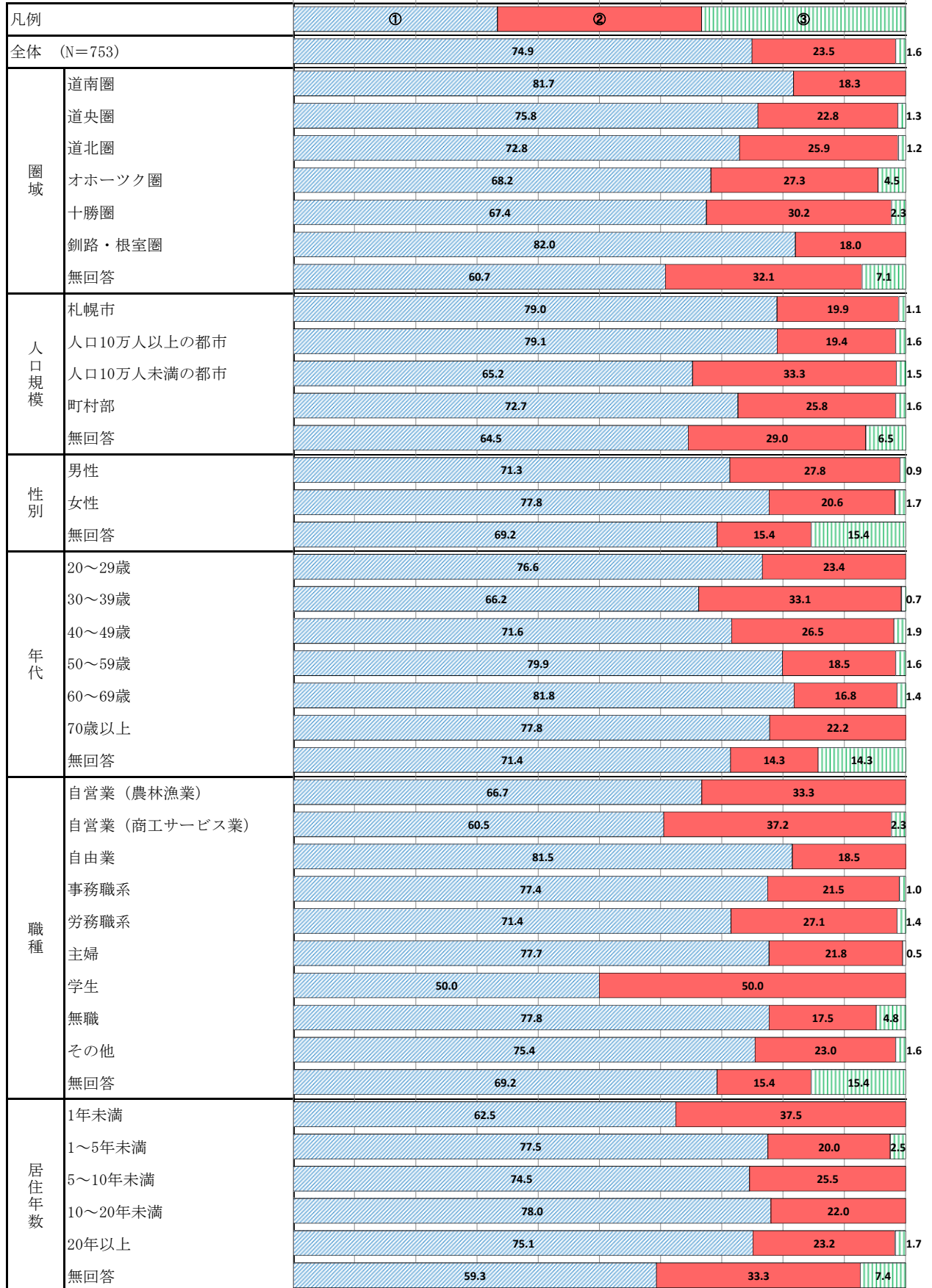
「関心がある」については、自由業(81.5%)が最も割合が高く、次いで無職(77.8%)となっている。「関心はない」については、学生(50.0%)が最も割合が高く、次いで自営業(商工サービス業)(37.2%)となっている。

【居住年数別】

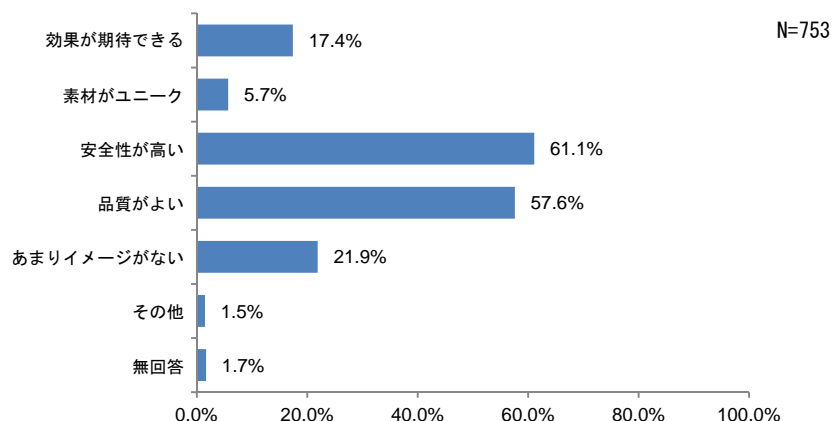
「関心がある」については、10～20年未満(78.0%)が最も割合が高く、次いで1～5年未満(77.5%)となっている。「関心はない」については、1年未満(37.5%)が最も割合が高く、次いで5～10年未満(25.5%)となっている。

①関心がある ②関心はない ③無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



問2 健康食品のうち北海道産のものについて、どのようなイメージをお持ちですか。
次の中からいくつでもお選びください。



【全体】

「安全性が高い」(61.1%)と答えた人の割合が最も高く、次いで「品質がよい」(57.6%)、「あまりイメージがない」(21.9%)の順となっている。

【圏域別】

「安全性が高い」については、十勝圏(74.4%)が最も割合が高く、次いで釧路・根室圏(72.0%)となっている。「品質がよい」については、十勝圏(74.4%)が最も割合が高く、次いで釧路・根室圏(62.0%)となっている。

【人口規模別】

「安全性が高い」については、町村部(67.2%)が最も割合が高く、次いで人口10万人以上の都市(61.8%)となっている。「品質がよい」については、人口10万人以上の都市(64.9%)が最も割合が高く、次いで町村部(56.3%)となっている。

【性別】

「安全性が高い」については、男性59.0%、女性62.9%となっており、「品質がよい」については、男性58.0%、女性57.4%となっている。

【年代別】

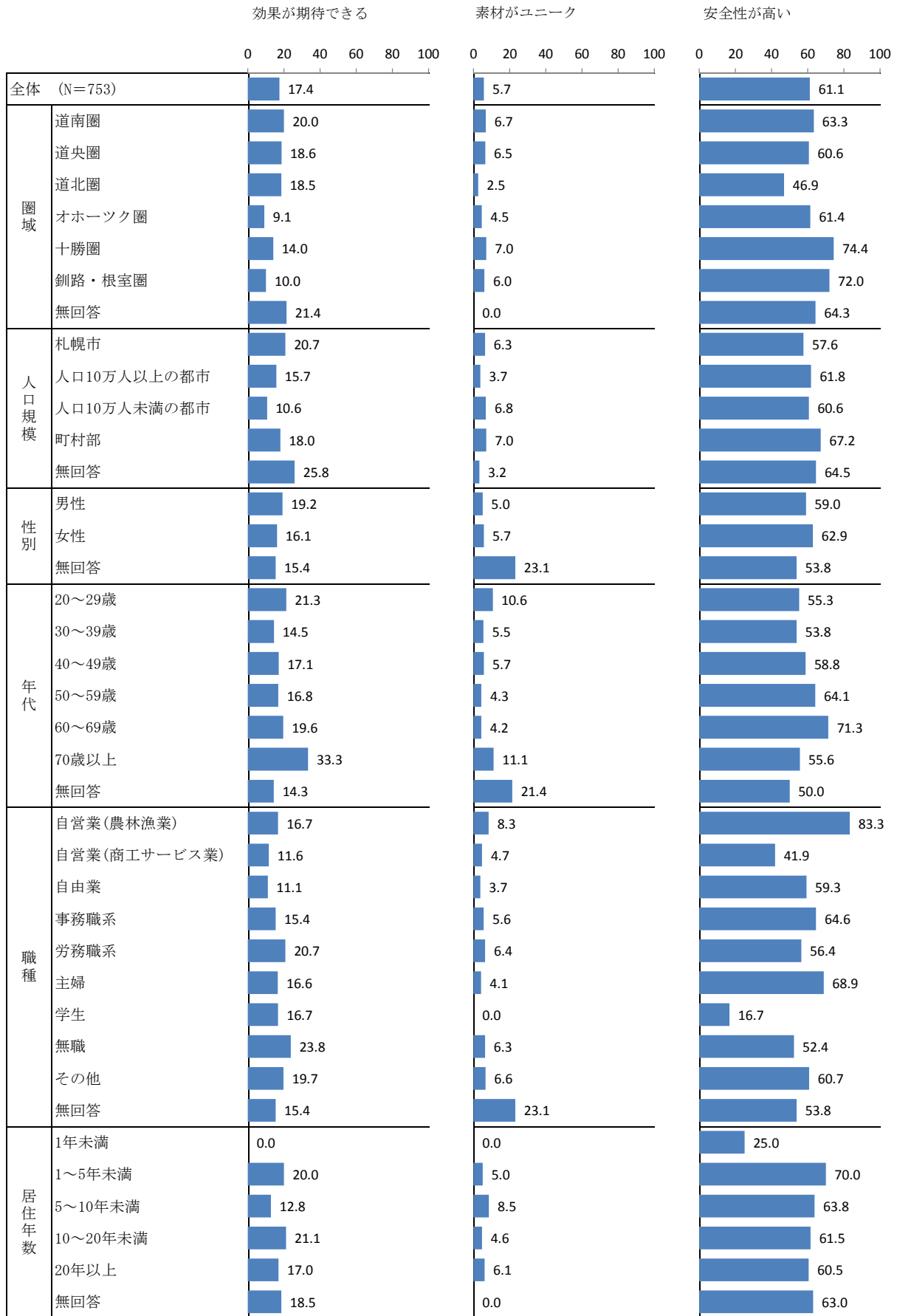
「安全性が高い」については、60～69歳(71.3%)が最も割合が高く、次いで50～59歳(64.1%)となっている。「品質がよい」については、20～29歳(74.5%)が最も割合が高く、次いで70歳以上(66.7%)となっている。

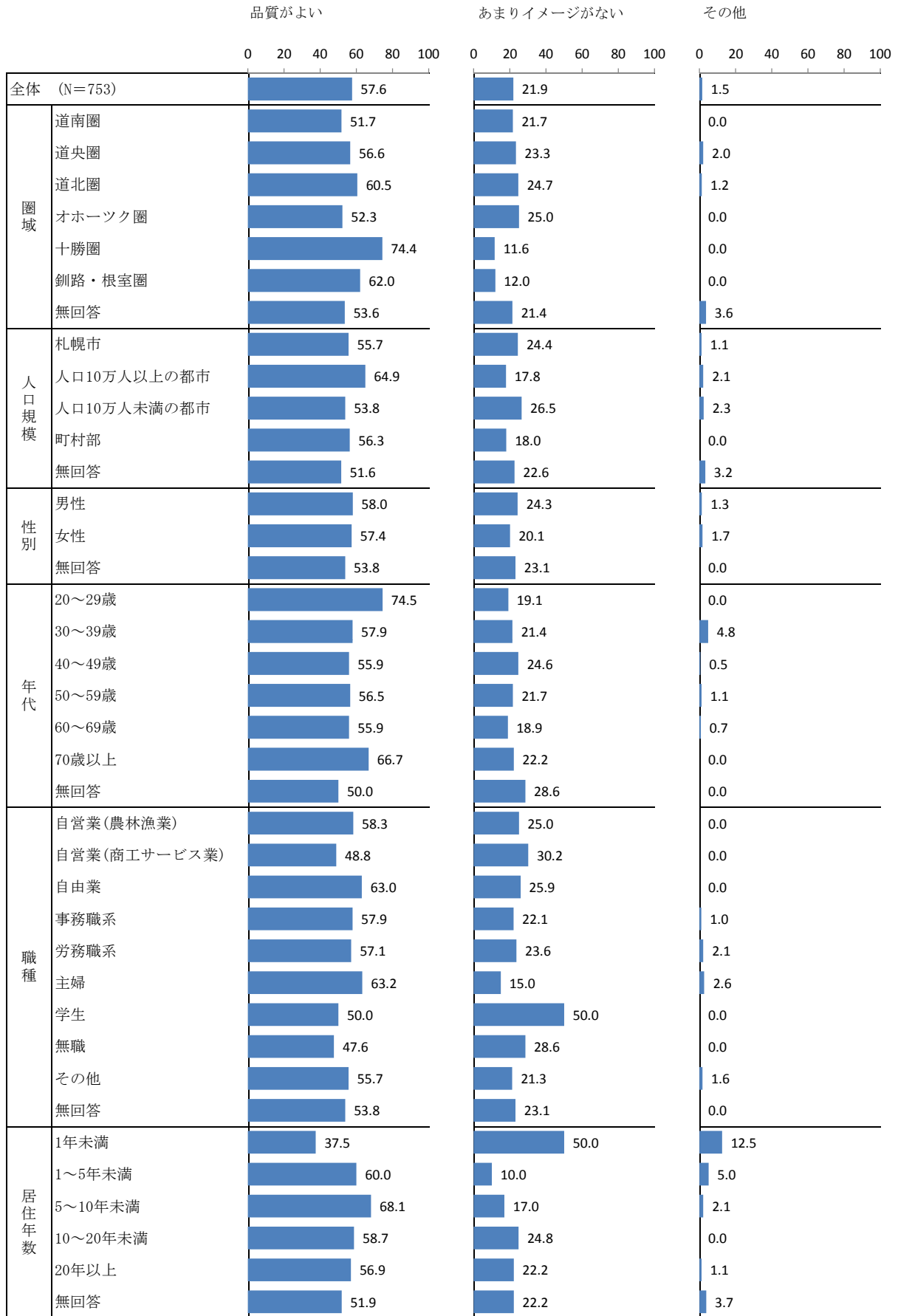
【職種別】

「安全性が高い」については、自営業(農林漁業)(83.3%)が最も割合が高く、次いで主婦(68.9%)となっている。「品質がよい」については、主婦(63.2%)が最も割合が高く、次いで自由業(63.0%)となっている。

【居住年数別】

「安全性が高い」については、1～5年未満(70.0%)が最も割合が高く、次いで5～10年未満(63.8%)となっている。「品質がよい」については、5～10年未満(68.1%)が最も割合が高く、次いで1～5年未満(60.0%)となっている。



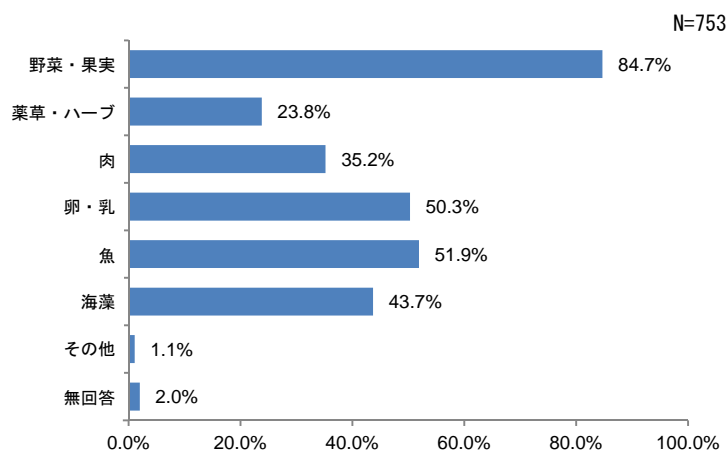


無回答

0 20 40 60 80 100



問3 北海道の食材を、健康食品の材料に使うとしたら、どれに興味がありますか。
次の中からいくつでもお選びください。



【全体】

「野菜・果実」(84.7%)と答えた人の割合が最も高く、次いで「魚」(51.9%)、「卵・乳」(50.3%)の順となっている。

【圏域別】

「野菜・果実」については、十勝圏(90.7%)が最も割合が高く、次いで道北圏(88.9%)となっている。「魚」については、釧路・根室圏(64.0%)が最も割合が高く、次いで十勝圏(53.5%)となっている。

【人口規模別】

「野菜・果実」については、人口10万人以上の都市(86.4%)が最も割合が高く、次いで町村部(85.9%)となっている。「魚」については、町村部(55.5%)が最も割合が高く、次いで札幌市(52.8%)となっている。

【性別】

「野菜・果実」については、男性82.0%、女性87.0%となっており、「魚」については、男性56.5%、女性48.2%となっている。

【年代別】

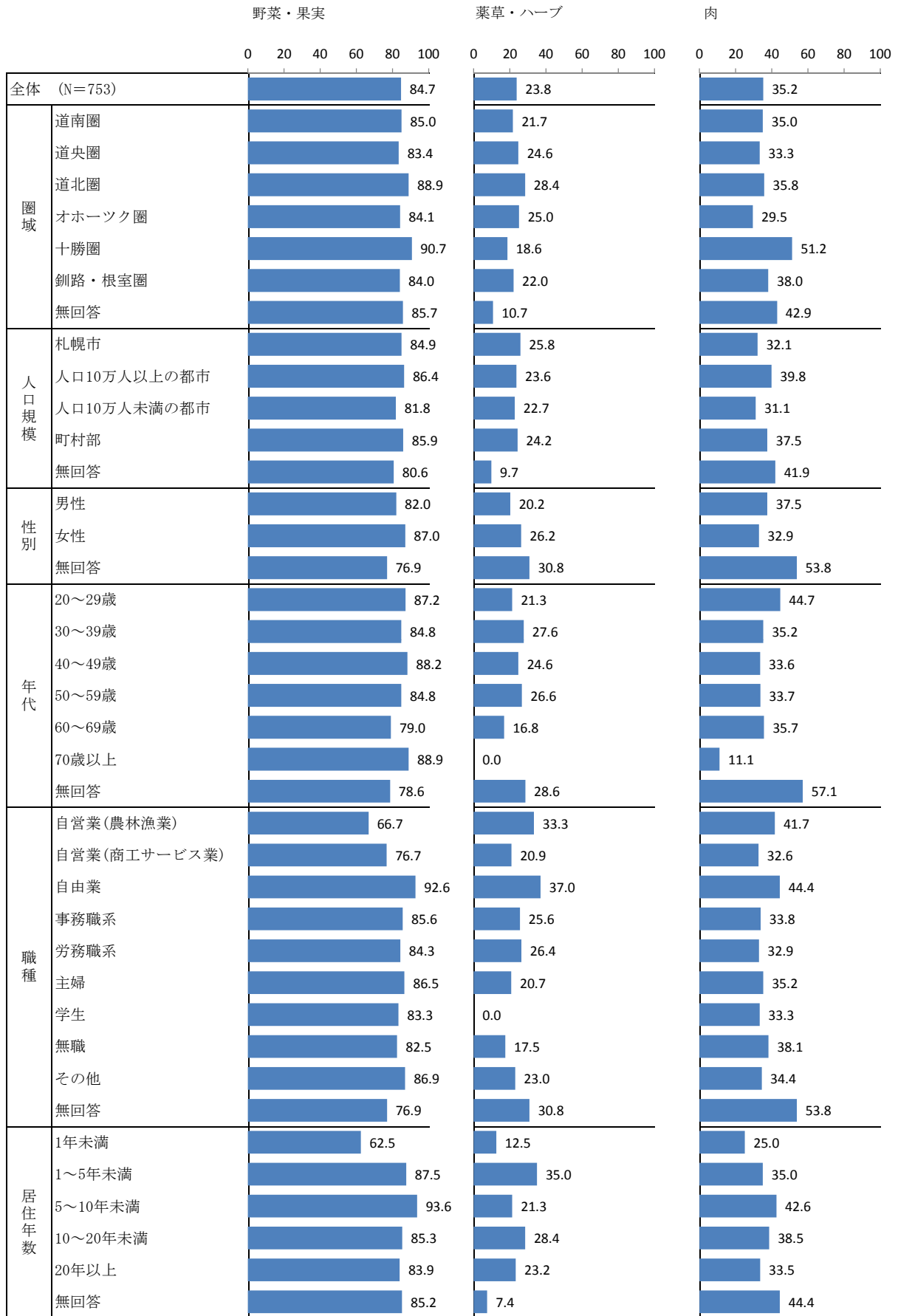
「野菜・果実」については、70歳以上(88.9%)が最も割合が高く、次いで40～49歳(88.2%)となっている。「魚」については、70歳以上(66.7%)が最も割合が高く、次いで20～29歳(61.7%)となっている。

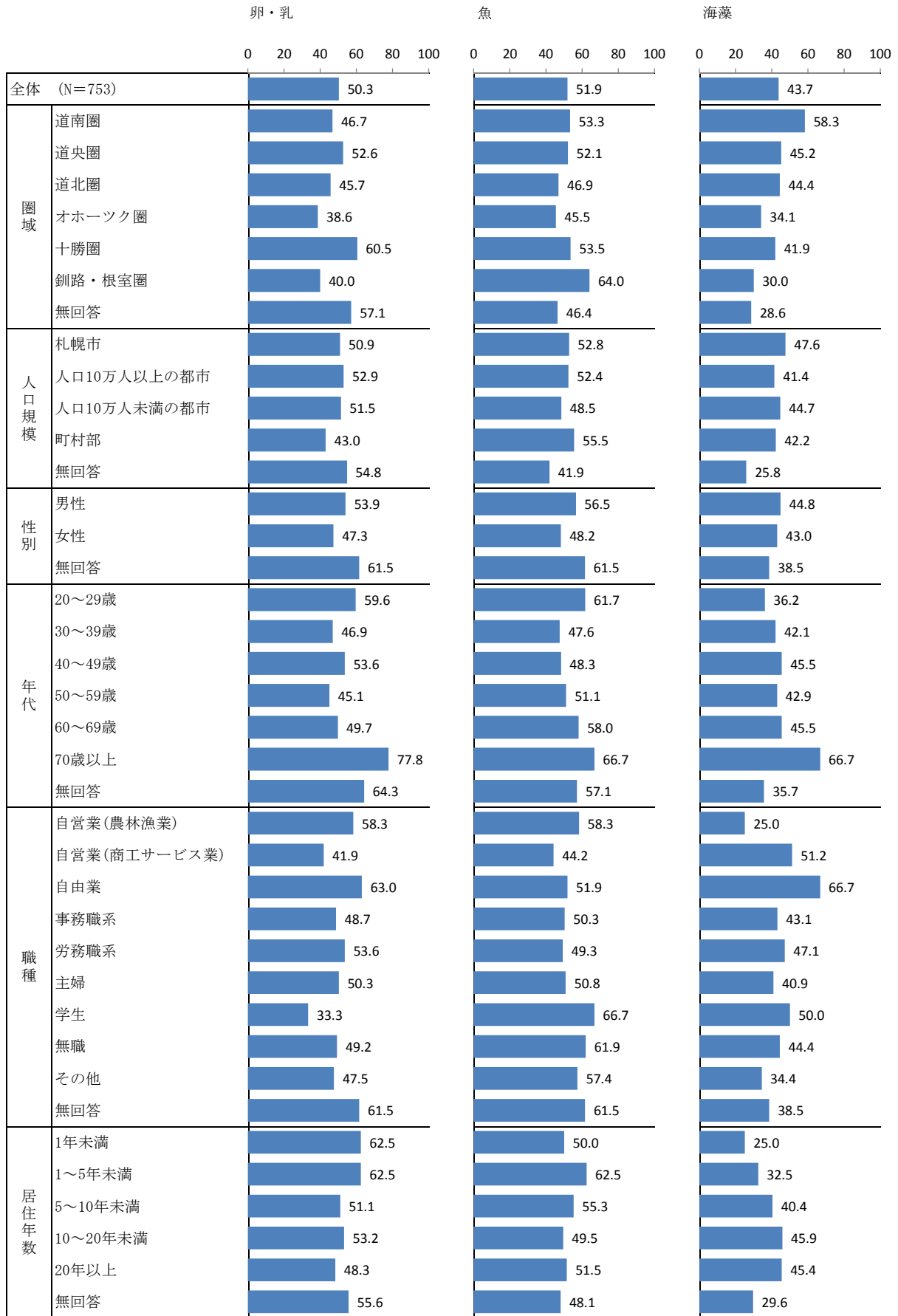
【職種別】

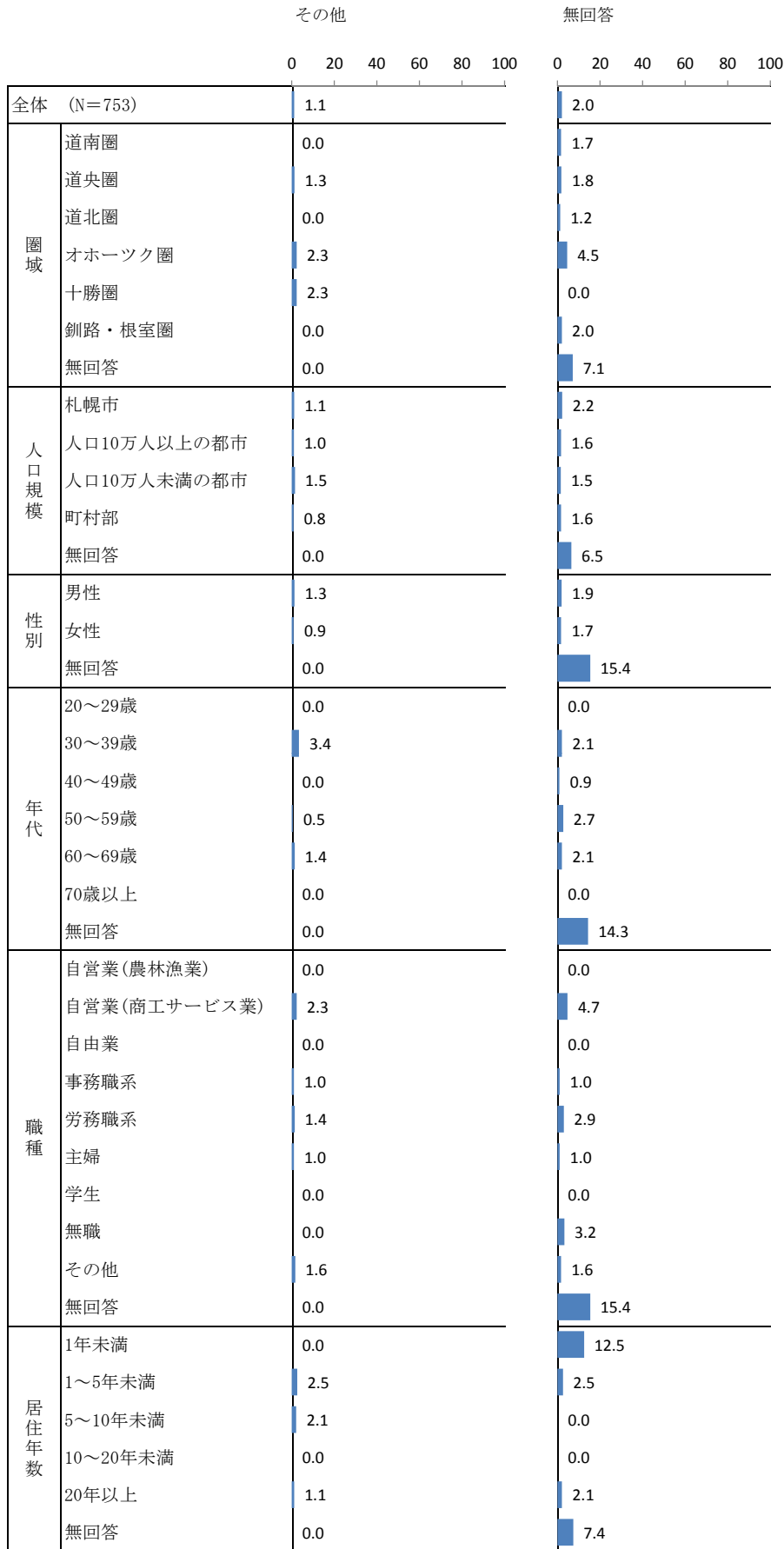
「野菜・果実」については、自由業(92.6%)が最も割合が高く、次いでその他(86.9%)となっている。「魚」については、学生(66.7%)が最も割合が高く、次いで無職(61.9%)となっている。

【居住年数別】

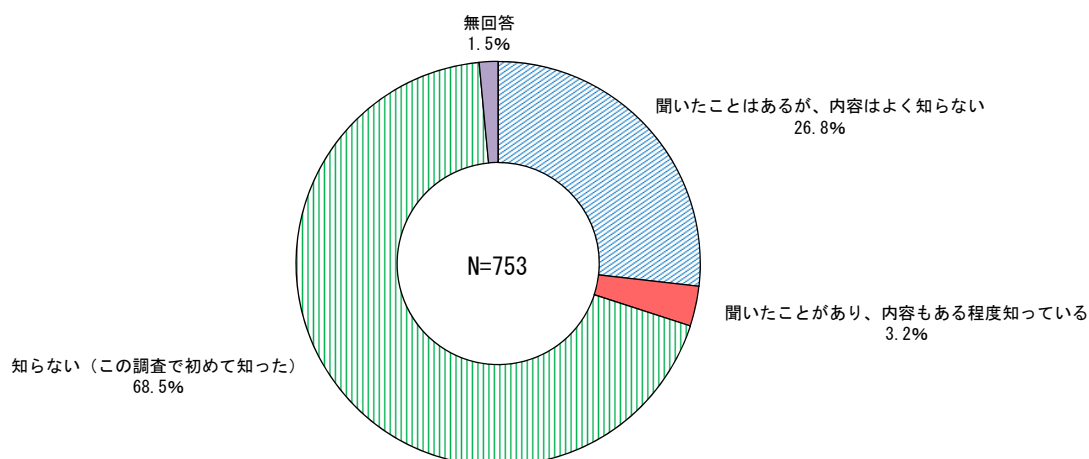
「野菜・果実」については、5～10年未満(93.6%)が最も割合が高く、次いで1～5年未満(87.5%)となっている。「魚」については、1～5年未満(62.5%)が最も割合が高く、次いで5～10年未満(55.3%)となっている。







問4 北海道食品機能性表示制度『ヘルシーD○』を知っていますか。
次の中から1つだけお選びください。



【全体】

「知らない（この調査で初めて知った）」（68.5%）と答えた人の割合が最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」（26.8%）、「聞いたことがあり、内容もある程度知っている」（3.2%）の順となっている。

【圏域別】

「知らない（この調査で初めて知った）」については、道南圏（70.0%）と道央圏（70.0%）が最も割合が高く、次いで道北圏（65.4%）となっている。「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」については、十勝圏（34.9%）が最も割合が高く、次いでオホーツク圏（29.5%）となっている。

【人口規模別】

「知らない（この調査で初めて知った）」については、人口10万人未満の都市（72.0%）が最も割合が高く、次いで札幌市（68.6%）となっている。「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」については、町村部（29.7%）が最も割合が高く、次いで人口10万人以上の都市（27.7%）となっている。

【性別】

「知らない（この調査で初めて知った）」については、男性67.2%、女性70.4%となっており、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」については、男性26.2%、女性26.7%となっている。

【年代別】

「知らない（この調査で初めて知った）」については、20～29歳（78.7%）が最も割合が高く、次いで30～39歳（71.7%）となっている。「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」については、70歳以上（44.4%）が最も割合が高く、次いで60～69歳（32.9%）となっている。

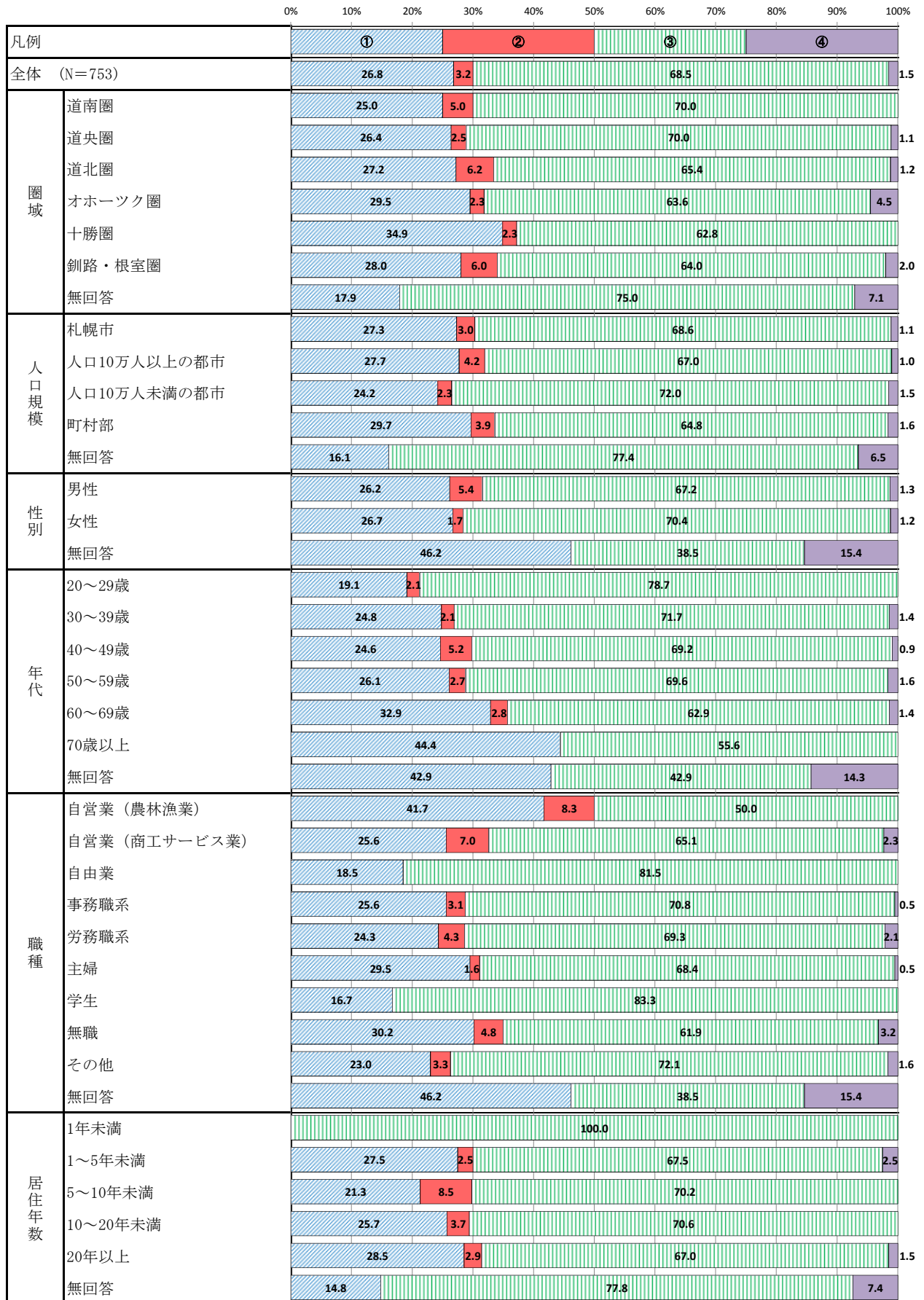
【職種別】

「知らない（この調査で初めて知った）」については、学生（83.3%）が最も割合が高く、次いで自由業（81.5%）となっている。「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」については、自営業（農林漁業）（41.7%）が最も割合が高く、次いで無職（30.2%）となっている。

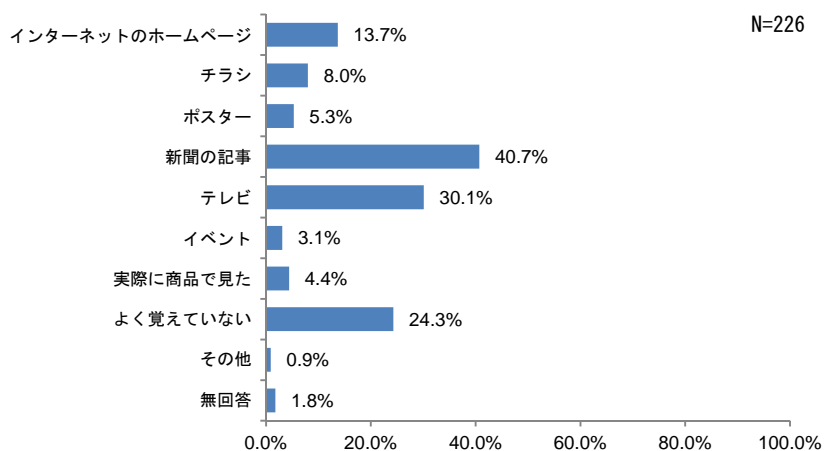
【居住年数別】

「知らない（この調査で初めて知った）」については、1年未満（100.0%）が最も割合が高く、次いで10～20年未満（70.6%）となっている。「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」については、20年以上（28.5%）が最も割合が高く、次いで1～5年未満（27.5%）となっている。

- ①聞いたことはあるが、内容はよく知らない
 ②聞いたことがあり、内容もある程度知っている。
 ③知らない（この調査で初めて知った） ④無回答



問5 ※「問4」で選択肢「1」または「2」を選んだ方のみお答えください。
 あなたは、『ヘルシーD○』のことを何で知りましたか。
 次の中からいくつでもお選びください。



【全体】

「新聞の記事」(40.7%)と答えた人の割合が最も高く、次いで「テレビ」(30.1%)、「よく覚えていない」(24.3%)の順となっている。

【圏域別】

「新聞の記事」については、十勝圏(56.3%)が最も割合が高く、次いでオホーツク圏(42.9%)となっている。「テレビ」については、道南圏(33.3%)が最も割合が高く、次いで道央圏(30.2%)となっている。

【人口規模別】

「新聞の記事」については、人口10万人未満の都市(42.9%)が最も割合が高く、次いで札幌市(42.7%)となっている。「テレビ」については、町村部(34.9%)が最も割合が高く、次いで人口10万人以上の都市(31.1%)となっている。

【性別】

「新聞の記事」については、男性47.0%、女性35.0%となっており、「テレビ」については、男性31.0%、女性30.0%となっている。

【年代別】

「新聞の記事」については、70歳以上(75.0%)が最も割合が高く、次いで50~59歳(54.7%)となっている。「テレビ」については、70歳以上(75.0%)が最も割合が高く、次いで40~49歳(38.1%)となっている。

【職種別】

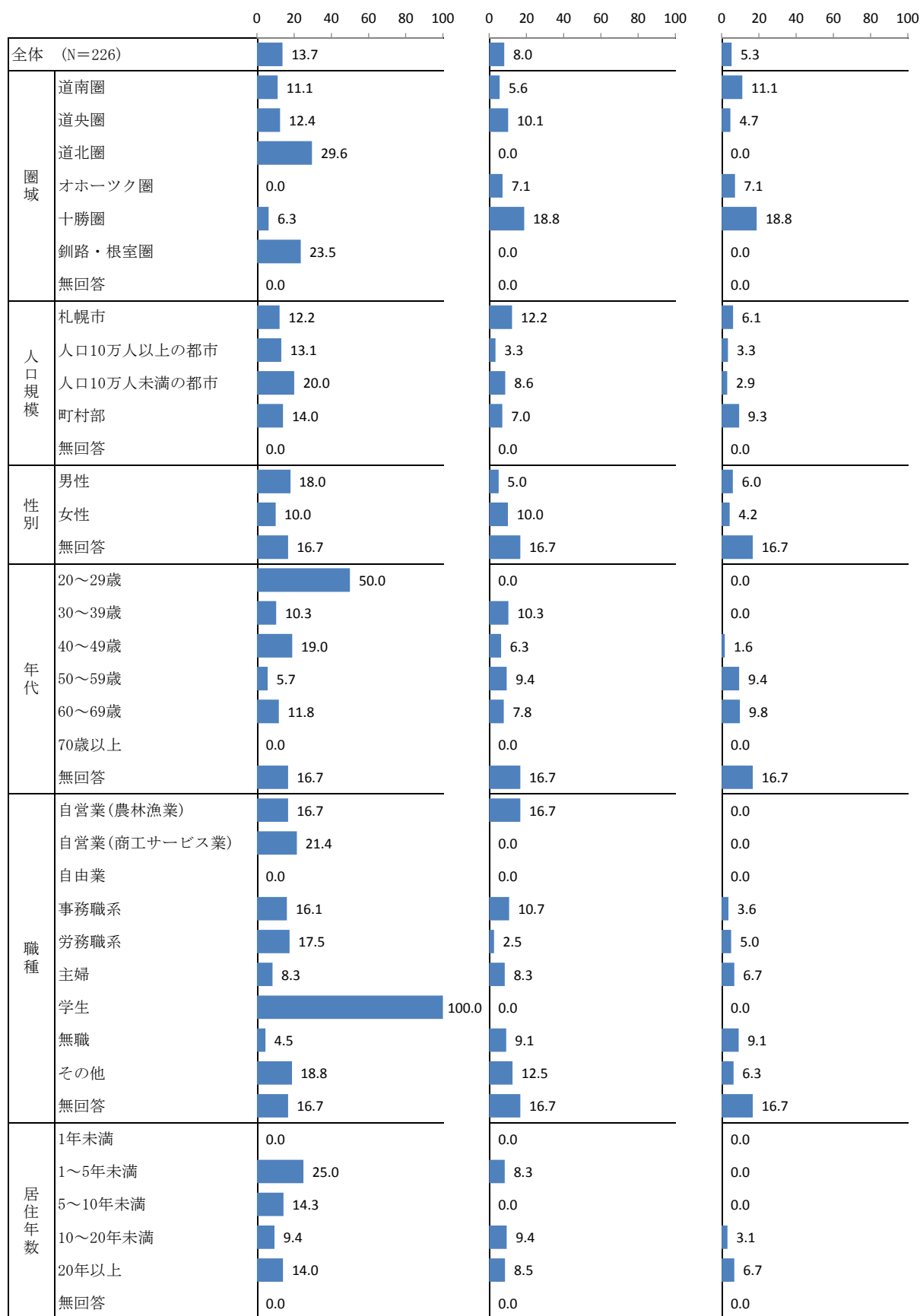
「新聞の記事」については、無職(68.2%)が最も割合が高く、次いで自営業(商工サービス業)(50.0%)となっている。「テレビ」については、労務職系(42.5%)が最も割合が高く、次いで自由業(40.0%)となっている。

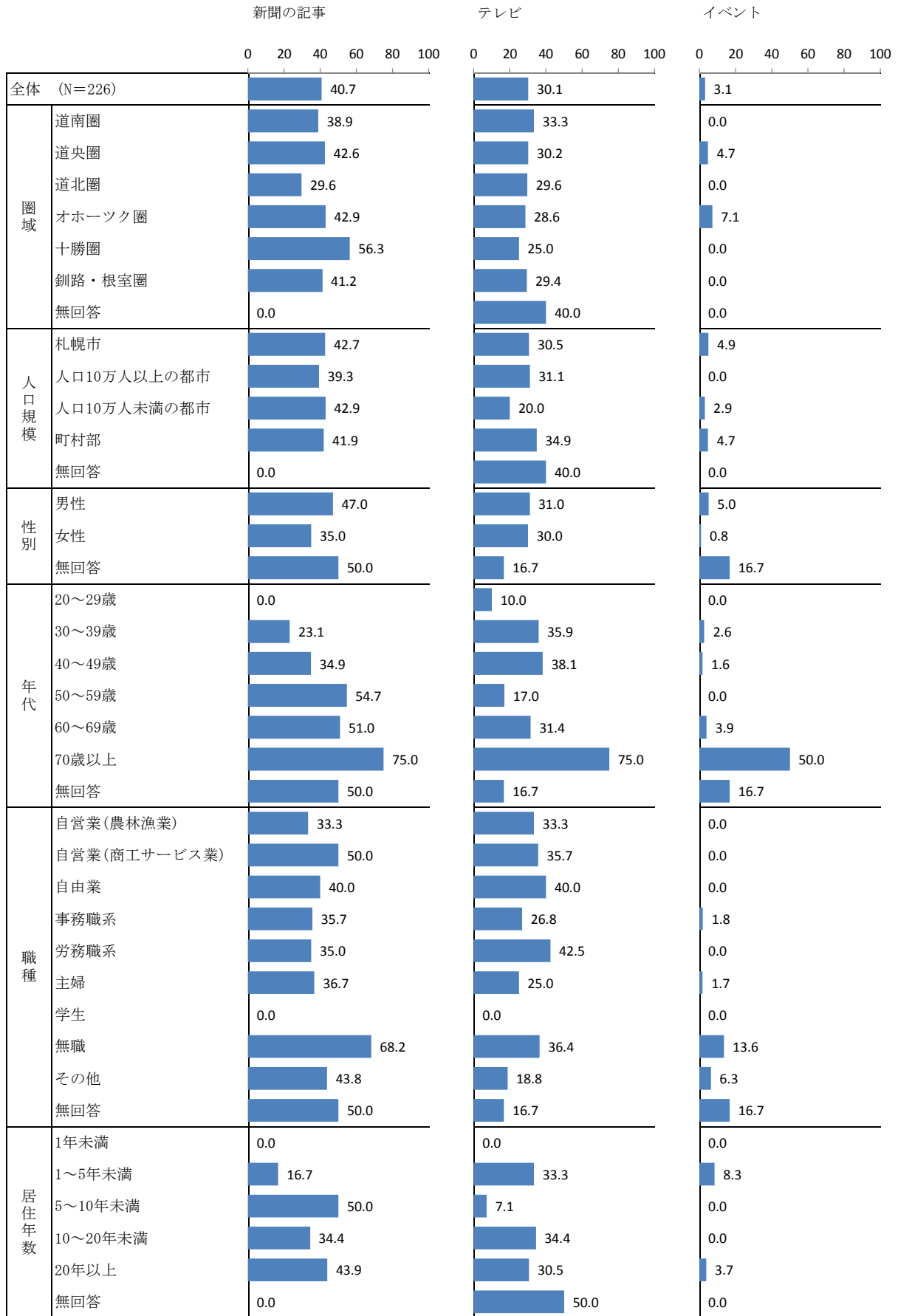
【居住年数別】

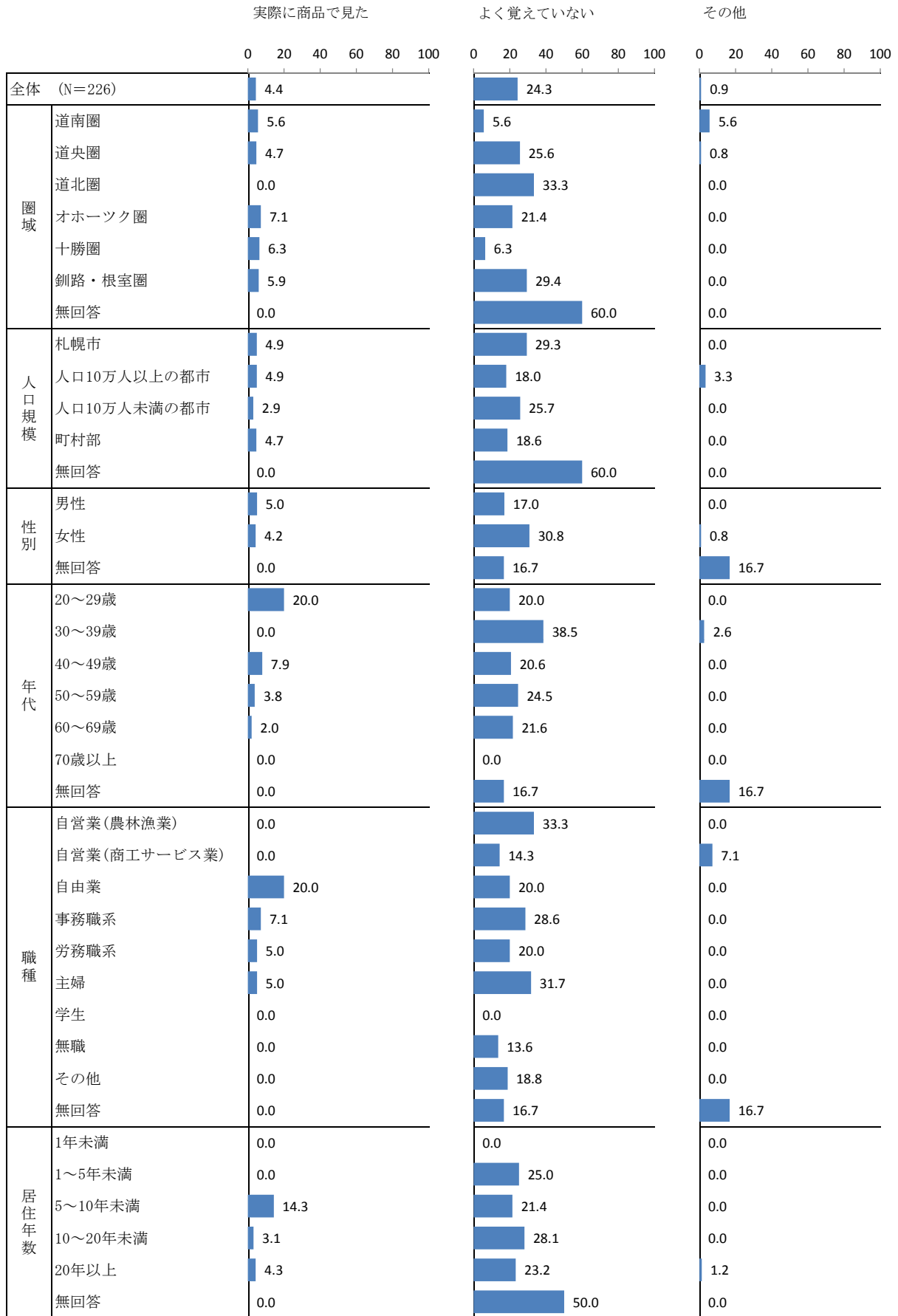
「新聞の記事」については、5~10年未満(50.0%)が最も割合が高く、次いで20年以上(43.9%)となっている。「テレビ」については、10~20年未満(34.4%)が最も割合が高く、次いで1~5年未満(33.3%)となっている。

インターネットのホームページ チラシ

ポスター





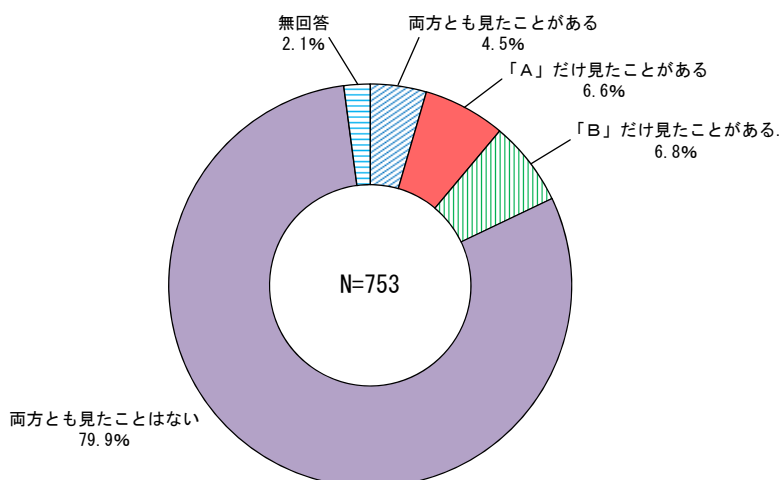


無回答

0 20 40 60 80 100

全体 (N=226)		1.8
圏域	道南圏	5.6
	道央圏	2.3
	道北圏	0.0
	オホーツク圏	0.0
	十勝圏	0.0
	釧路・根室圏	0.0
	無回答	0.0
	札幌市	0.0
人口規模	人口10万人以上の都市	1.6
	人口10万人未満の都市	5.7
	町村部	2.3
	無回答	0.0
性別	男性	0.0
	女性	3.3
	無回答	0.0
年代	20～29歳	0.0
	30～39歳	2.6
	40～49歳	0.0
	50～59歳	3.8
	60～69歳	2.0
	70歳以上	0.0
	無回答	0.0
職種	自営業(農林漁業)	0.0
	自営業(商工サービス業)	0.0
	自由業	0.0
	事務職系	0.0
	労務職系	2.5
	主婦	5.0
	学生	0.0
	無職	0.0
	その他	0.0
	無回答	0.0
	居住年数	1年未満
1～5年未満		0.0
5～10年未満		7.1
10～20年未満		3.1
20年以上		1.2
無回答		0.0

問6 『ヘルシーD○』の認定マーク(下図A)とロゴ(下図B)を見たことがありますか。
次の中から1つだけお選びください。



【全体】

「両方とも見たことはない」(79.9%)と答えた人の割合が最も高く、次いで「B」だけ見たことがある」(6.8%)、「A」だけ見たことがある」(6.6%)の順となっている。

【圏域別】

「両方とも見たことはない」については、道北圏(81.5%)が最も割合が高く、次いで道央圏(81.0%)となっている。「B」だけ見たことがある」については、道南圏(10.0%)が最も割合が高く、次いで釧路・根室圏(8.0%)となっている。

【人口規模別】

「両方とも見たことはない」については、札幌市(81.5%)が最も割合が高く、次いで人口10万人以上の都市(81.2%)となっている。「B」だけ見たことがある」については、町村部(9.4%)が最も割合が高く、次いで人口10万人以上の都市(6.8%)と人口10万人未満の都市(6.8%)となっている。

【性別】

「両方とも見たことはない」については、男性78.2%、女性81.8%となっており、「B」だけ見たことがある」については、男性7.3%、女性6.1%となっている。

【年代別】

「両方とも見たことはない」については、20~29歳(85.1%)が最も割合が高く、次いで30~39歳(83.4%)となっている。「B」だけ見たことがある」については、70歳以上(11.1%)が最も割合が高く、次いで30~39歳(10.3%)となっている。

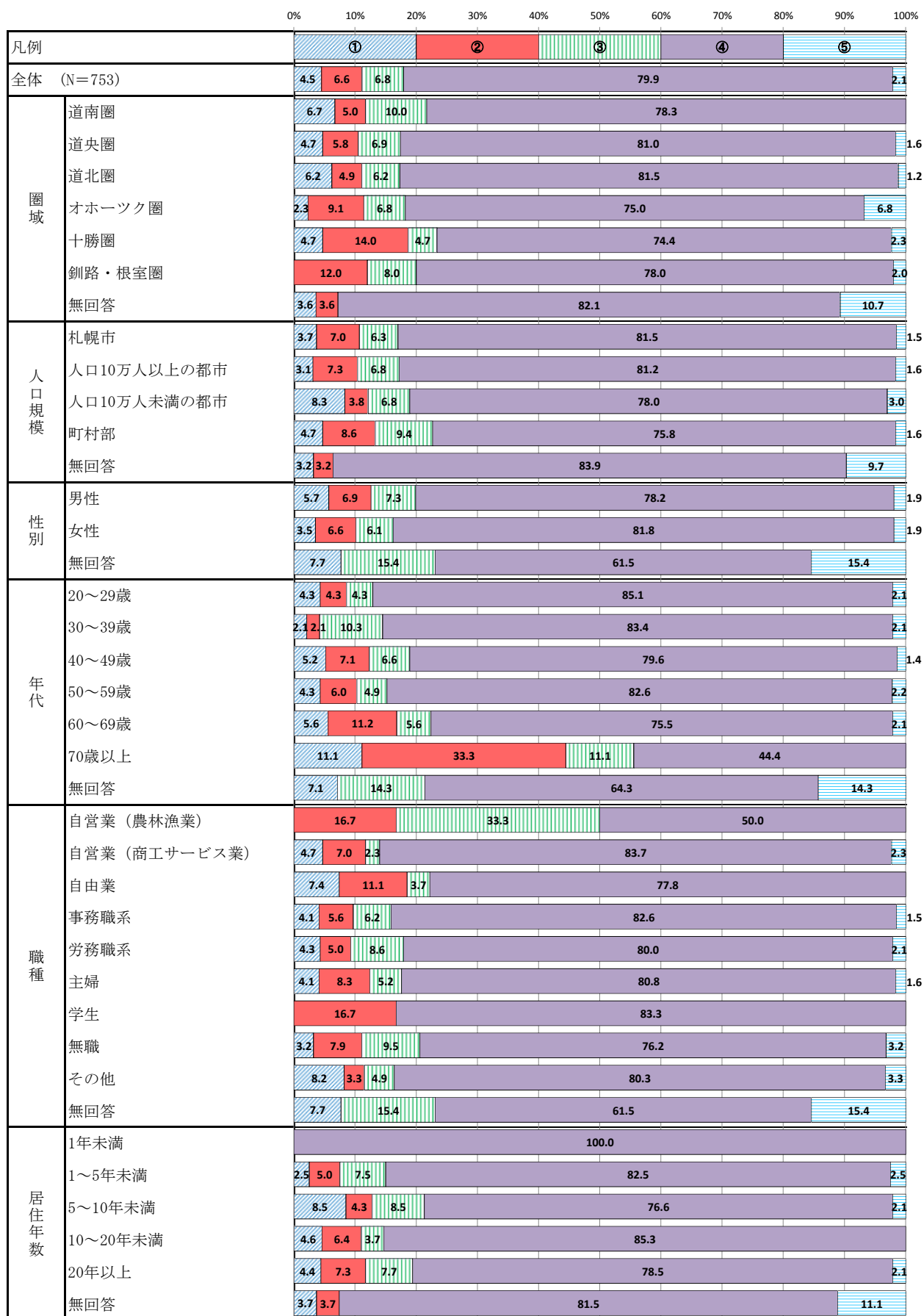
【職種別】

「両方とも見たことはない」については、自営業(商工サービス業)(83.7%)が最も割合が高く、次いで学生(83.3%)となっている。「B」だけ見たことがある」については、自営業(農林漁業)(33.3%)が最も割合が高く、次いで無職(9.5%)となっている。

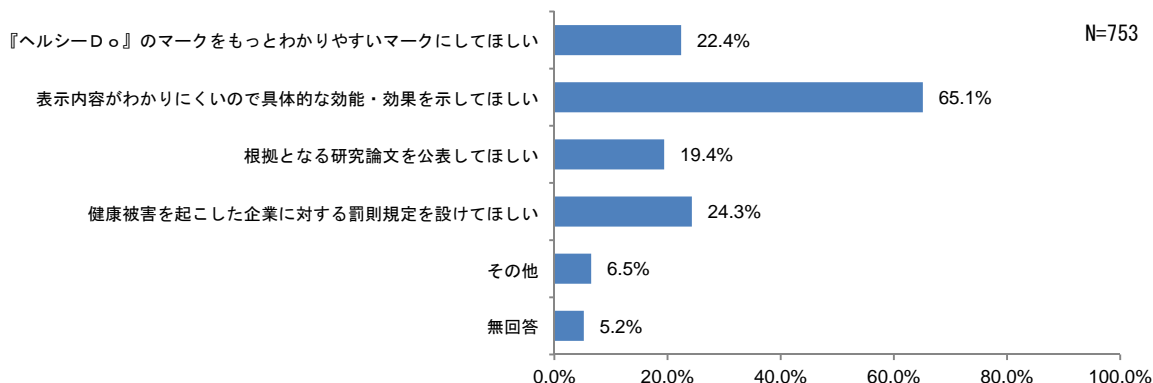
【居住年数別】

「両方とも見たことはない」については、1年未満(100.0%)が最も割合が高く、次いで10~20年未満(85.3%)となっている。「B」だけ見たことがある」については、5~10年未満(8.5%)が最も割合が高く、次いで20年以上(7.7%)となっている。

①両方とも見たことがある ②「A」だけ見たことがある ③「B」だけ見たことがある
 ④両方とも見たことはない ⑤無回答



問7 今後『ヘルシーD○』にどのようなことを期待しますか。
次の中からいくつでもお選びください。



【全体】

「表示内容がわかりにくいので具体的な効能・効果を示してほしい」（65.1%）と答えた人の割合が最も高く、次いで「健康被害を起こした企業に対する罰則規定を設けてほしい」（24.3%）、「『ヘルシーD○』のマークをもっとわかりやすいマークにしてほしい」（22.4%）の順となっている。

【圏域別】

「表示内容がわかりにくいので具体的な効能・効果を示してほしい」については、道央圏（66.9%）が最も割合が高く、次いで道南圏（66.7%）となっている。「健康被害を起こした企業に対する罰則規定を設けてほしい」については、道北圏（27.2%）が最も割合が高く、次いで道央圏（26.0%）となっている。

【人口規模別】

「表示内容がわかりにくいので具体的な効能・効果を示してほしい」については、町村部（66.4%）が最も割合が高く、次いで人口10万人以上の都市（66.0%）となっている。「健康被害を起こした企業に対する罰則規定を設けてほしい」については、札幌市（28.0%）が最も割合が高く、次いで町村部（25.0%）となっている。

【性別】

「表示内容がわかりにくいので具体的な効能・効果を示してほしい」については、男性59.3%、女性69.5%となっており、「健康被害を起こした企業に対する罰則規定を設けてほしい」については、男性27.1%、女性22.0%となっている。

【年代別】

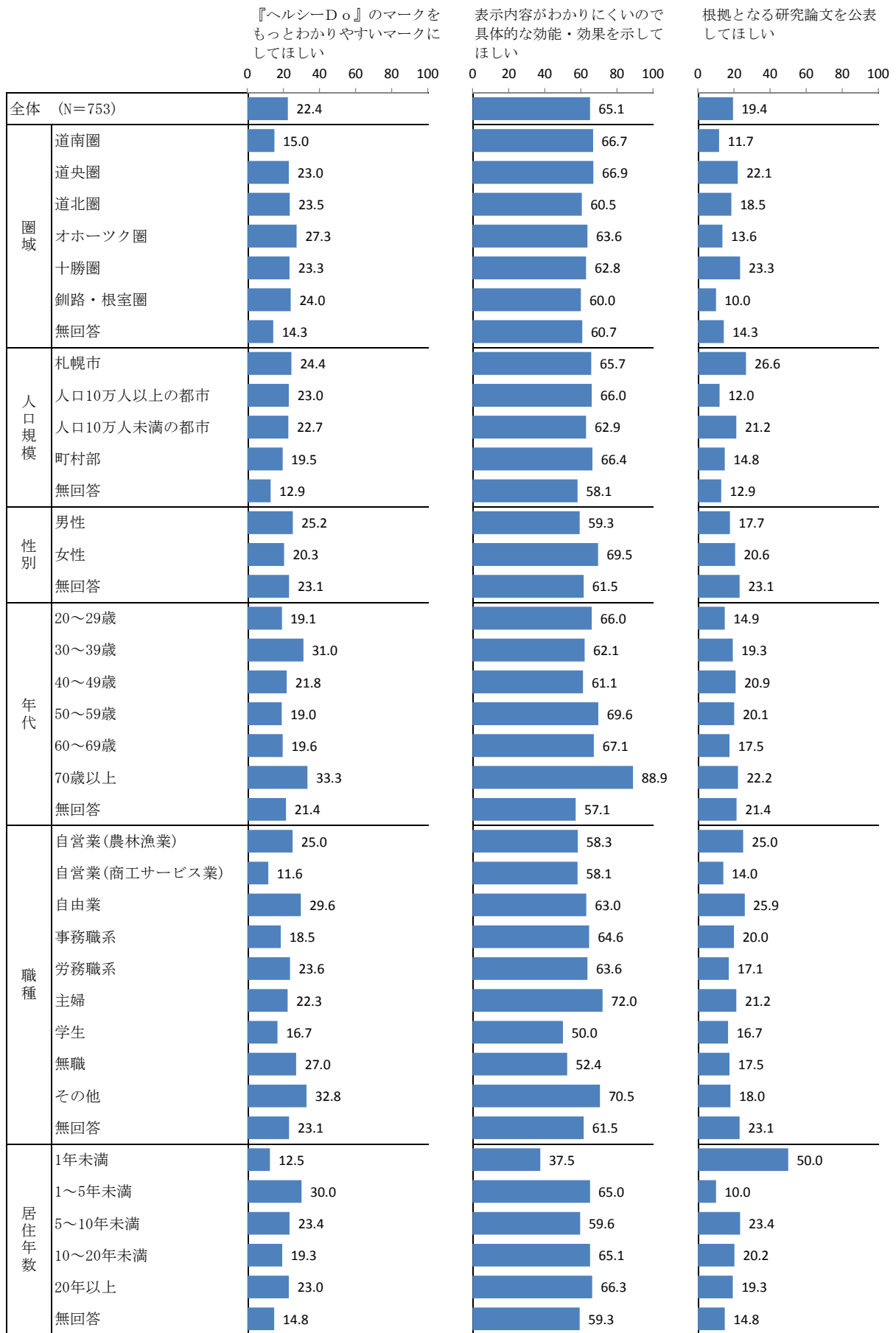
「表示内容がわかりにくいので具体的な効能・効果を示してほしい」については、70歳以上（88.9%）が最も割合が高く、次いで50～59歳（69.6%）となっている。「健康被害を起こした企業に対する罰則規定を設けてほしい」については、70歳以上（44.4%）が最も割合が高く、次いで60～69歳（28.7%）となっている。

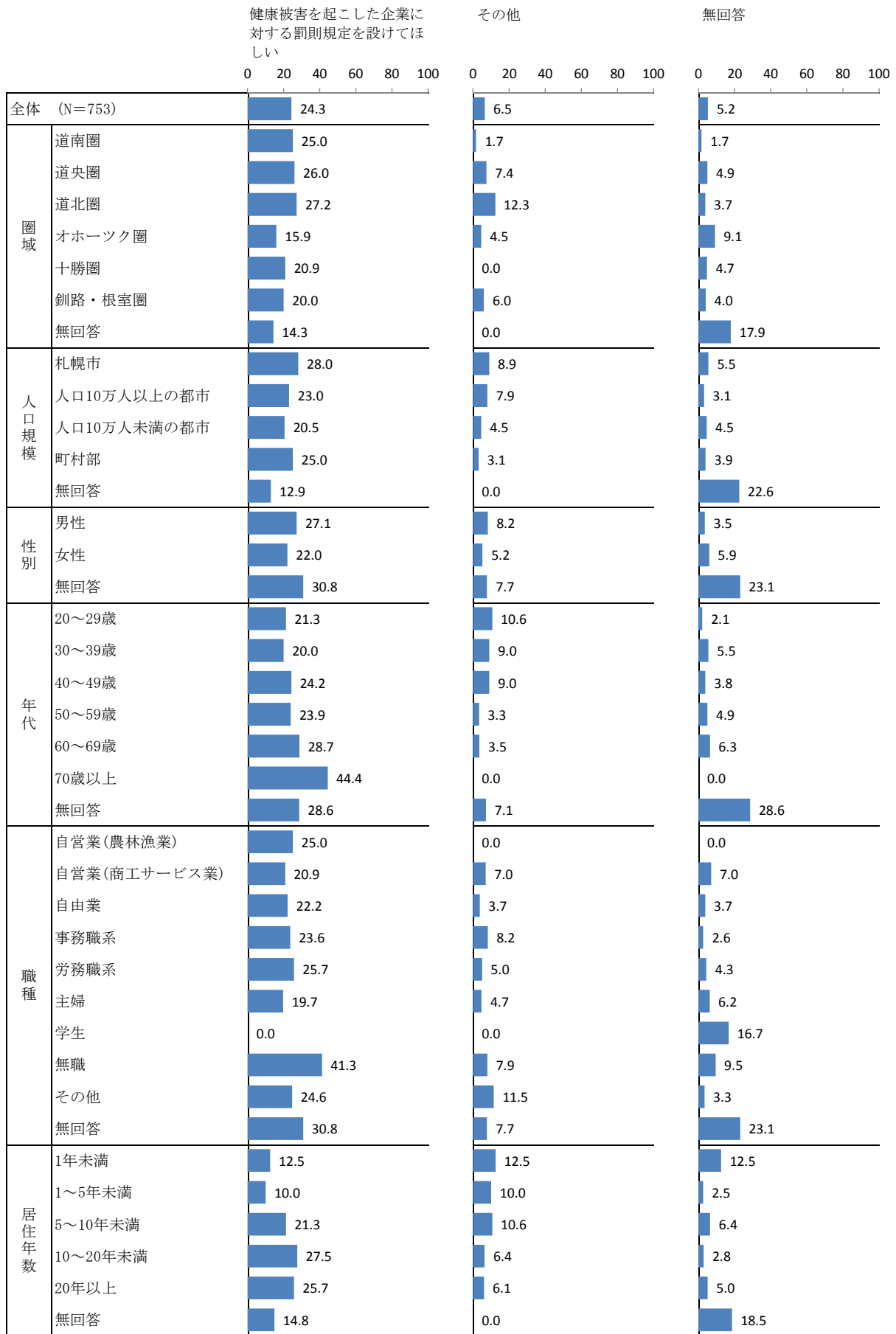
【職種別】

「表示内容がわかりにくいので具体的な効能・効果を示してほしい」については、主婦（72.0%）が最も割合が高く、次いでその他（70.5%）となっている。「健康被害を起こした企業に対する罰則規定を設けてほしい」については、無職（41.3%）が最も割合が高く、次いで労務職系（25.7%）となっている。

【居住年数別】

「表示内容がわかりにくいので具体的な効能・効果を示してほしい」については、20年以上（66.3%）が最も割合が高く、次いで10～20年未満（65.1%）となっている。「健康被害を起こした企業に対する罰則規定を設けてほしい」については、10～20年未満（27.5%）が最も割合が高く、次いで20年以上（25.7%）となっている。





「北海道食品機能性表示制度（ヘルシーD o）について」の調査を終えて

道では、道産食品の高付加価値化を図るため、道内で製造された健康食品に含まれる機能性成分について、健康でいられる体づくりに関する科学的な研究が行われた事実を認定する「北海道食品機能性表示制度（ヘルシーD o（ドゥ））」を平成25年4月1日からスタートさせた。

今回の調査結果では、本制度の認知度については、3割の人が「聞いたことがあり、内容もある程度知っている」「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」と答えている。

また、健康食品に関しては、7割以上の人が「関心がある」と答えるとともに、北海道産の健康食品のイメージとして、「安全性が高い」「品質がよい」とそれぞれ約6割の方が答えている。

今後は、これらの調査結果を踏まえながら、本制度の一層の認知度向上、制度活用に向けて、情報発信や企業への働きかけの強化等に取り組み、ヘルシーD oの推進を通じた道産食品の高付加価値化や食の北海道ブランドのさらなる向上を図っていく。

（経済部食関連産業室）